

11月2日

第3回探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業連絡協議会(町)

町主催の第3回目の会は、東部教育事務所西奈那子指導主事に来ていただき、行われました。

まず、3校のこれまでの取組や今後の計画、そしてこままっている事などを交流。

その後、三和中学校の1年生の『地域の魅力再発見プロジェクトII【町の魅力を伝えよう】』の総合的な学習の時間の授業が、担任であり研究主任である高橋先生を中心として、河本先生、瀧本先生3名の先生によって、提案されました。



研究協議から…

- これまでの学びを生かしたものになっていた。
- ワークシートにルーブリックの視点がつけられていたのがよかった。(授業の中でも、本時のルーブリックを読んで少し説明されていた)
- 生徒はどんな意見も受容する雰囲気があり、思考ツールを活用している部分も良かった。
- 生徒の意見交流する場面では、タブレットのジャムボードの機能を用いるなどの工夫ができたのでは。等々の意見が出されました。



西指導主事より…

◎ルーブリック作成について

毎時間毎時間作成しなくてもよい。

単元のまとめりごとでよい。

(生活科の小単元のような感じ)

そもそもルーブリックは、児童の姿が見取れることが難しい時のものである。



◎「資質・能力のつきたい力」や「探究的な学習のながれ」のカード活用について

来見小で、授業のはじめに、今日ではどんな力をつける時間かを児童と共有していることに対して、授業のはじめ(先に)児童に提示することは、意識させることができるが…どんな育ちをしたのか、後で価値づける方法もある。

今回指導いただいたことを各学校に持ちかえり、今後の研究や指導に活かしていきたいと思いました。西指導主事さん、授業者の先生方、ありがとうございました。